

すぎのこ

179

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2025 7/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
狭山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演日より／園からの声／青い目の人形100年平和サミット／「ゲネプロ」報告 ほか
4面 制作日より／演育ワークショップ／事務局日より ほか

<http://www.suginoko.org/>
E-mail: support@suginoko.org



新作「かさじぞう」の舞台上に集合

変えてはいけないもの 変えなければならぬもの

理事長 大場 隆志

二年前の五月八日にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスは、二類感染症から五類感染症へと変更され収束されることとなりました。この時期に「一〇〇年に一度の危機」「戦後最大の危機」などという言葉が使われましたが、一九六九年に創刊された日経ビジネスで「一〇〇年に一度の危機」という言葉は、五十五年で二十三日も使われていたということでした。

そして、コロナ収束後の翌年には、戦後最大の危機のウクライナ戦争が始まったと記載されています。二、三年に一回の確率で起こる危機は、一〇〇年に一度の危機ではないということが分かります。

結果的に何が言いたいのかというと、むしろ世の中は安定しないことが当たり前で、何が起るかわからない状況が普通だということとです。

つまり、常に課題を解決し、新しいイノベーションを起していかなければ、そもそも組織の存続は難しいということを認識していることが大切だということです。

新しいイノベーションを起すことは、それぞれの会社の目的や意義に合わせた課題解決が土台となっているのが通例ですが、せっかちな人や、すぐに役に立つものを探している人、行き詰っている人は、他社の成功している表面上の現象だけを真似をして、失敗するケースが多いので気を付けなければなりません。

最近、流行りの言葉にDXやサブスクなどがあります。確かにDXは重要ですが、目的ではありません。

会社にとっての目的は企業価値を長期的に維持することですので、DXは価値を維持する上で手段

として大切であるということです。サブスクという仕組みも同じです。サブスクという流行りを追いかけると、スーツのAOKIが行った「洋服のサブスク」や焼肉の牛角が行った「焼肉のサブスク」というようなことになり、半年足らずで撤退するという結果になります。

そもそも「サブスク」は新しい言葉ではありませんし、フィットネスクラブの会員システムも言い換えれば「サブスク」ということになり、五十年以上前から行われています。

「サブスク」はアドビやネットフリックスの戦略で成功したモデルとして有名ですが、両者ともに企業の目的に合わせた課題解決によるイノベーションの結果ということとです。

ネットフリックスは、最近できた会社というイメージを持っている人が多いと思いますが、二十八年前の一九九七年にアメリカで創業しており、当時はレンタルDVDショップでした。当時のレンタルDVDショップは、映画などの新作が出ると、その新作を大量に仕入れて利益を出すのが一般的で、旧作のDVDは店舗面積の多くを占めるにもかかわらず、借りる人が少ないために大きな利益にはなっていないものでした。そしてDVDレンタルショップは、大量に新作を仕入れることができる会社が競争優位にあるため、同じアメリカの競合会社であるブロックバスターには勝てませんでした。

しかし、ネットフリックスは会社が潰れそうになりながらも、新作の需要を旧作に変えることを目

的にイノベーションを起していきました。今のレコメンド機能はネットフリックスが考え出したといっても過言ではないと思います。

一人一人の視聴傾向を細かく分析して、その人に合ったオススメを提案していく。今でこそ当たり前前のサービスになってきましたが、当時はそのような機能やサービスはありませんでした。その課題解決が結果的に成功モデルとなったということとです。

したがって、それぞれの会社がいろいろな流れの中で、試行錯誤して成功したサービスの一部だけを切り取ってコピーしても、別の会社にとっては、うまくいかないどころか、むしろ悪化する可能性が高いということとです。

他社ができないことをする、他社がやらないことをすることで、生まれる優れた戦略の独自性が、本当のイノベーションであるということとです。

私たち公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会としても、この安定しない激動する世の中において、「どの子にも、ナマの舞台の感動を」を届けるといふ創立当初から変えてはいけない創業理念を守りつつ、少子化などの課題を解決しながら、新しいイノベーションを起していくことが大切だと思っております。

イギリスの文学者サミュエル・ジョンソンは、「愚行の原因は似ても似つかぬ者の真似をすることにある」と言っています。だから私たちは私たちにしかできない新しい価値を創るために想像と創造を常に繰り返していきたいと思っております。

巡回公演だより



そして本編の「かさじぞう」。「これはみなさんにも馴染みのある日本民話だと思います。」

一生懸命二人で作った売り物の笠をお地藏さんにかぶせるおじいさん。それをとても良いことだと言ったおばあさん。人の優しさがあふれるこの民話を子どもたちの心に残すことができれば本望です。

人形操作を任された私たちは、劇団のみんなの想いを背負い、稽古をして参りました。みんなで作った、人形劇「かさじぞう」を是非、お楽しみ下さい。

(星野 翼)

金のおの銀のおの

班

太陽のまぶしい季節になりました。園に入ると、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。この季節は子どもたちがすっかり環境に慣れ、自分らしさを出し始める時期でもあります。そんな公演先の中で、ふとした瞬間に見られる子どもたちの「正直な姿」は、私たちに多くの気づきを与えてくれます。

幼児期の「正直さ」は、大人が思う「良い・悪い」を超えた素直な自己表現です。「本当は〇〇が良かった」「ぼくがやったの」と言えるのは、その場に「安心」

を感じているからだと思います。

子どもたちが勇気を出して本当のことを話したときには、「言ってくれてありがとう」と、気持ちをしっかり受け止めたんです。そして、間違いや隠しごとをしたときも、感情的に叱るのではなく、「どうしてそう思ったのかな」と寄りそいたいです。自分の間違いを認めたり、素直な気持ちを言葉



園からの声

金のおの銀のおの

■湖桜保育園(新潟県新潟市)
0才児〜5才児、保護者も招いての観劇会でした。毎年みんなが楽しみにしています。

今年も1才児さんも、最後まで1つと見つけて、集中して参加しており、とてもおもしろかったです。また機会がありましたらお願いします。

■のざわこども園(長野県下高井郡野沢温泉村)
当日の朝、準備をしてくださっている様子を見ただけでも、子ども

も達はワクワク楽しみにしていました。大型のセット、迫力のある演技に子ども達はくぎづけでした。家に帰ってから保護者の方に「楽しかった」等、感想やあらすじを説明していた子どももいたようでした。職員からも「良かった」と反響がありました。ありがとうございました。

マーシャんともほつんのぞん

■昭和スポーツ幼稚園(北海道釧路市)
今回、バックの絵(背景)が映像になっていて、工夫や技術がすごいな〜と見させて頂きました。

子ども達が、お話に夢中になり聞いていて、終了後もそのお話をしていたと、担任の先生から聞きました。

■釧路あさひ認定こども園(北海道釧路市)
2歳児もお話の世界にしっかりと引き込まれ見ている様子がありました。終演後も、子ども達が登場人物や物語をふり返り、余韻を楽しんでいました。ありがとうございました。

かたごころ

■華頂幼稚園(福岡県北九州市)

リズムカルなセリフや手あそびなど、子ども達が楽しめる要素が盛りだくさんで、子ども達は飽きることなく参加できていました。人形劇をみる機会も貴重な体験なので有難いです。ありがとうございました。

■平和のぼら保育園(長崎県五島市)
お地藏さんの顔の表情がそれぞれに違って良かったです。演出が、二人でしているとは思えないほど細かく工夫されていて、特別にお地藏さんが運んでくる場所など、その場の雰囲気が出ていました。現代の様子(エレキギター)も取り入れ、声色も変え、聞き取りやすい声でした。

紙芝居は全身で表現したり、竹笛、おわんなどを使って演じることで、子ども達も楽しみながら集中していました。ありがとうございました。

(2025年度で閉園のため最後の観劇会としてご覧いただきました)



青い目の人形100年 平和サミット



1927年に始まった日米人形交流(通称「青い目の人形」)が、2027年に100周年を迎えます。この節目に向けて、私たち「すぎのこ」は「青い目の人形100年 平和サミット」を企画しました。最新情報をホームページにて随時更新してまいりますので、ぜひご注目ください。

また、青い目の人形に関する資料や情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひすぎのこ事務局までお寄せください。皆さまのご協力をお待ちしております。

※この取り組みが北海道新聞に取り上げられました!

▶詳細はこちら
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1138996/>

にしたりすることで、「正直でいいんだ」と感じてほしい。子どもたち一人ひとりが「ありのままの自分」でいられるような関わりを大切にしたいと願いながら、「金のおの銀のおの」の上演を届けています。
 (小杉 正繁)

「マーリヤンとまほうのふで」班

十数年前、すぎのこに入団し、自分が初めて演じたのは「おだんごばん」という作品のおだんごばん役でした。パンなので手足は無



く、コロコロと平面的に転がる形状の人形です。入団したての自分は「これじゃあ転がるしか動かしようがないじゃないか」と思ったものです。ところがある時、先輩が「動かしてみてもいい？」とその人形を操作した時のことです。平面的な動きの中でも微妙な角度や緩急の付け方で、感情があるように見える、何よりかわいい……。同じ人形でも、遣い手によって違うものかと思撃を受けました。人形の動きに関する引出しが多いのはもちろんですが、何より「この人形はどうしたらより魅力的に見えるだろうか」という探究心。このことがきっかけで「人形劇って面白いな」と感じました。

「マーリヤンとまほうのふで」にはたくさんの人形が出てきます。メインの人型の人形の他に、いろんな動物の人形「おきなかぶ」では木彫りの人形。人形によって動かせる箇所も、可動域も異なります。それぞれの人形が魅力的に見える、その人形らしい動きを研究し、上演をしていきたいと思っています。

(石山 和佳)

「ゲネプロ」報告

今年度の巡回公演3作品「金のおの銀のおの」、「マーリヤンとまほうのふで」、新作「かさじぞう」による本番稽古・ゲネプロを4月

29日、埼玉県狭山市にある、すぎのこ狭山研修センターに於いて実施しました。
 各作品制作関係者、地域のご家族連れ、劇団員の友人、知人。また、今年の春、入団した新人の親御さんが、長野県からいらして下さり、盛況のうちに終了することができました。

今回は「かさじぞう」が新作で、観劇していただいた園からのアンケートが特に気になるのですが、「歌が子どもたちにすぐ入るメロデーだったの、楽しめました」「小さい子たちも、話の内容を全部は理解できないようでしたが、



観に来てくれた子ども達と

犬が出てくると「ワン・ワン！」と声をだしていました」などのご意見をいただきました。これからも貴重なご意見を参考に、子どもたちの心に響く人形劇をお届けできるように切磋琢磨してまいります。ご来場の皆様、ありがとうございました。



打ち上げ風景

「自分だけのかさをつくろう」ワークショップ開催しました

2025年度新作「かさじぞう」を記念して、「自分だけのかさをつくろう」ワークショップを、すぎのこ春のゲネで開催いたしました。未就学児から中学生のお子さんがたくさん参加してくれました。

クレヨンやペンを使って、思い通りの笠を作り、見せ合いっこをしました。「楽しい!」「もっと描きこみたい!」という感想も聞くことができ、笑顔のあふれるワークショップになりました。



第38回

池袋いびいひ 人形劇まつり参加の報告



ないオープン参加型の人形劇のおまつりとして、毎年開催されています。

今年すぎのこは、全国巡回公演中の時期で、「もぐもぐ劇場」として一人で参加しました。

17日は天気が悪くお客さんがいらっしやるか心配でしたが、午前中の回から大勢の方がご来場くださり、18日と合わせ、盛況のうち

に終了することができました。これも、38年間、毎年開催してきた成果だと思います。

そして、とてもうれしいことがありました。17日の午前中にいらした、小学校3年生の女の子と幼稚園の男の子を連れのお母さんが、「去年観た三匹のこぶたが良かったので、今年ももぐもぐさんを観にきました。家に帰ってからも、ぶたさんの話をしていましたよ」と上演終了後、声をかけてくださいました。

これからも、良い作品を創っていきたいと思います。来年も、お会いできるように!

いいだ人形劇フェスタ

だれもが参加できる日本最大の人形劇の祭典、いいだ人形劇フェスタに、今年も参加します。今年

19時開演。会場は、松尾公民館(飯田市松尾城4012-1 ☎0265-221-0091)になります。詳しくは「いいだ人形劇フェスタ」ホームページをご覧ください。
<https://www.iida-puppet.com/>

制作

向日葵が日々背を伸ばすこの時季、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年度の一学期は北海道地方、北信越地方、九州地方を巡回してまいりました。早いもので一学期も終盤です。

講習会報告 演育ワークショップ

2025年度も埼玉県飯能市にあるさゆり幼稚園において、演育ワークショップを実施いたしました。おかげさまで4年連続になります。

4月は「生き物の表現」。自由な発想でごっこ遊び(身体表現を行いました。子どもたちは身体全体を使って、ウサギになったり、怪獣になったり、ダンゴムシになったりして、楽しんで表現してくれました。5月は、自由に表現することを楽しみ慣れることをねらいとした「だれがなにをした」を行いました。二つの箱を用意して、一つには、宇宙人・おかあさん・ゴリラなどのカードを入れ、もうひとつの箱には、野球をした・泣

さて私たちは、上演をさせていただいた園様にアンケート用紙をお渡ししています。「挨拶」「安全配慮」「作品内容」「演技力」「舞台・セット」について、「よかった」「ふつう」「よくなかった」の三段階でご回答をいただいています。みなさまの評価をつうじ、より良い上演へとつなげていくためです。アンケートは狭山事務所の制作部が拝受しているのですが、なん

と！嬉しいことにいずれの演目も高い評価を得ております。二学期は「マーリヤンとまほうのふで」で九州地方を、「金のおの銀のおの」で東北地方と沖縄本島を、そして新作「かさじぞう」で中国地方を巡回する予定です。好評をいただいている演目でみなさまと楽しい時間を共有したいので、二学期・三学期もご用命をお待ちしております！ (坂本 憲治)

いた・笑ったなどのカードを入れて一枚ずつ引いてもらい、自分の身体で表現するワークショップです。何が出てくるかわくわくしながら聞いて、何をされたのカードを引くと「え〜」と歓声をあげて、子どもたちの豊かな発想で、表現してくれました。来月は、伝言ゲーム・笑うこと・泣くことのワークショップを予定しています。演育ワークショップは、「おうたで演育」「おあそび演育」「おはなし演育」「おにんぎょう演育」など、様々なワークショップがあります。年齢・回数などにより内容は変わりますが、お問い合わせください。

(下村 明)

事務局だより

理事・新監事紹介

第8期理事が就任致しました。
代表理事・大場 隆志
業務執行理事・下村 明
理事・浅野 茜子

新監事・楽々 道夫

第4期監事に追加で就任致しました。

榎本 均
東野 麻衣子

婦恋研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型

自動車振興会(現公益財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」があります。この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはパーベキューが楽しめる集会棟が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ
E-mail: support@suginokorg
または03-3984-2396
(事務局)

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
 - 個人 年額 3,000円 以上
 - 団体 年額 10,000円 以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
 - 個人 年間 3日間以上
 - 団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

活動記録(令和7年4月~6月)

4/23・24	演育ワークショップ実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
5/17・18	池袋いけいけ人形劇まつり参加 於・雑司が谷公園 丘の上テラス(東京都豊島区)
5/7	第一期全国巡回公演開始
5/15・21	演育ワークショップ実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
5/20	第12回臨時理事会開催 於・当公益財団事務所
6/9	第14回定例評議員会開催 於・当公益財団事務所
6/9	第28回定例理事会開催 於・当公益財団事務所
6/12・25	演育ワークショップ実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
6/30	令和6年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出

新しい仲間紹介



佐藤 慧弥

今年4月から入団しました。人形劇はもちろん演劇などについては完全に未経験での入団です。

皆さんに演技など指導をしていただきました。その甲斐あって現在は北海道公演にて頑張っております！現場にて子ども達の楽しそうな顔や嬉しそうな声を聞くことができ、この業界に入ってよかったです。まだまだ拙い演技ではございますが、これから上達できるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします！